



適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用 回数	使用方法	シアナジンを含む農業の 総使用回数
			薬量	希釈水量			
日 本 芝	一年生雑草	春期雑草発生前 ～発生始期	100～200mℓ/10a	200～250ℓ/10a	3回以内	全面土壌 散 布	3回以内
		秋冬期雑草発生前 ～発生始期					





効果・薬害等の注意

- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振り、本剤の所定量を所要量の水でうすめ、よくかきまぜてから散布する。散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 本剤は雑草発生前～発生始期に有効なので時期を失しないよう土壌全面に均一に散布する。
- ターフを形成した日本芝に使用し、ベントグラスなどの寒地型西洋芝では薬害が生じるのでかからないようにする。特にゴルフ場においては、西洋芝のグリーンやティーグラウンドの周辺では散布をひかえる。
- 本剤はツユクサに対して効果が劣るので、ツユクサの優占ほ場での使用はさける。また、広葉雑草に比べてイネ科雑草にはやや効果が劣るので、イネ科雑草には所定範囲内の多目の薬量とする。
- 砂土、水はけの良い土壌では、薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。また、雨の多い時期、場所での使用はさける。
- 高温時は薬害を生じるおそれがあるので、使用をさける。
- 春期に使用する場合、芝の萌芽期以降の散布は黄化褐変等の薬害を生じるおそれがあるのでさける。また、秋冬期に使用する場合、一時的に葉身に黄化や退色などの薬害を生じる場合があるので、芝生育期（生育休止期）に使用する。尚「芝生育期（生育休止期）」とは、茎葉の一部に緑色が残っていても、生育の停滞している時期を指す。
- 水源池等に本剤が飛散、流入しないように十分に注意する。
- 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 激しい降雨の予想される場合は使用をさける。
- 散布薬液の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分注意して散布する。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意



- 誤飲などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保 管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。

